

平成14年12月 検定試験

[No.33] 「エンジン警告灯が点灯しないが、エンジン不調である。」という自動車について点検したところ、次の表の結果が得られた。この自動車の不具合の原因として、適切なものはどれか。

表

点 検 箇 所	点 検 結 果
点火プラグ	点火部が真っ黒
外部診断器接続時の冷却水温	50℃
冷却水温実測	80℃
図の V <sub>1</sub>	0.5V
図の V <sub>2</sub>	1.5V
図の V <sub>3</sub>	0.5V
図の V <sub>4</sub>	1.5V
図の V <sub>5</sub> 及び V <sub>6</sub>	0V

信号電圧特性

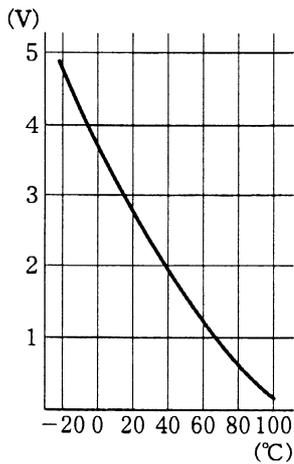
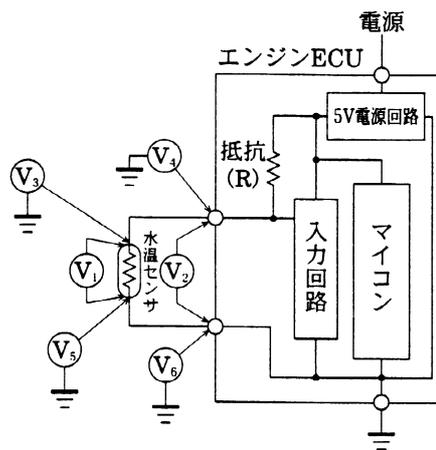


図 信号電圧の点検



- (1) 水温センサの抵抗特性が変化し、エンジンが暖機しているにもかかわらず、空燃比が濃い状態になりエンジン不調となった。
- (2) エンジン ECU 内の抵抗 (R) が異常になり、エンジンが暖機しているにもかかわらず、空燃比が濃い状態になりエンジン不調となった。
- (3) 水温センサの信号配線に接触抵抗などが発生し、エンジンが暖機しているにもかかわらず、空燃比が濃い状態になりエンジン不調となった。
- (4) 水温センサのアース配線に接触抵抗などが発生し、エンジンが暖機しているにもかかわらず、空燃比が濃い状態になりエンジン不調となった。